

父島と母島の自然遺産マップ



わたしたちにもできる小笠原の自然を守るための約束

新たな外来種を侵入させない

日本の本土など的小笠原以外の地域から、小笠原に広がるおそれのある、植物や動物、土・土の付いた苗などを持ち込まないようにしよう。

土には植物の種や小さな虫などがひそんでいることが多いです。

ストップ

おがさわら丸
OGASAWARA MARU

外来種を広げない

山の中や他の島に行くときは、靴底や服、荷物に、種や小さな生きものがくっついていたり、まぎれ込んだりしていないかチェックしよう。

靴底はブラシで泥をきれいに落としてから出かけるようにしましょう。

種
虫
土
小動物

在来の生きものたちのすみかをそっとしておく

山の中に行くときには、歩道や決められたルート利用のルールを守り、ルートから踏み出さないようにしましょう。

森は生きものたちの生活の場所

生きものも人も幸せに暮らす

飼っているペットは登録をし、特にネコは不妊去勢手術やマイクロチップを入れる、屋内で飼うなど、人もペットも野生動物も穏やかに暮らせるようにしましょう。

詳しくは、「小笠原村愛玩動物の適正な飼養及び管理に関する条例」**オガニマルール**をチェック!!



World Natural Heritage Ogasawara Islands 世界自然遺産 小笠原諸島

進化と変化を続ける島々の 変わらないモノと変わったコト

小笠原への行き方

東京 竹芝

およそ週に1便の船のみ!

東京から約1,000km
丸1日かけて到着

おがさわら丸

二見港

父島 小笠原

ははじ丸

約2時間で到着

沖港 母島

小笠原諸島は、東京から約1,000km南にある30余りの島々の総称です。これらの島のうち、一般の人が住んでいるのは父島と母島のみです。

令和5年3月
制作・発行 ○----- 小笠原村環境課 <http://www.vill.ogasawara.tokyo.jp/>
● 100-2101 東京都小笠原村父島字西町 ● 04998-2-2270
協力 ○----- 環境省、林野庁、東京都
イラスト/デザイン ○----- 羽馬有紗



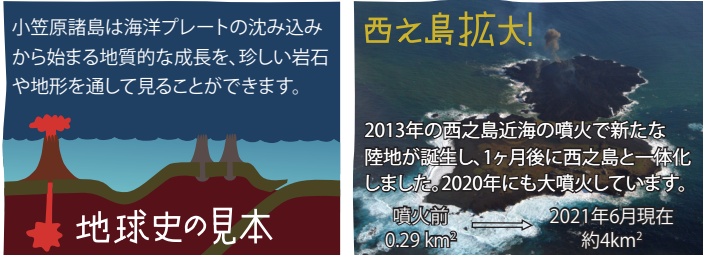
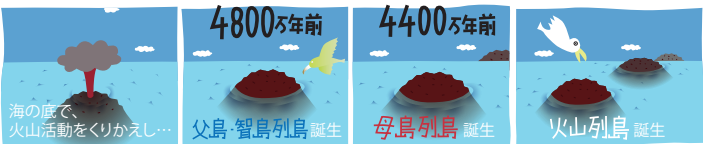
平成23年6月、小笠原が世界自然遺産に登録

小笠原では、生きものたちが独自の進化をとげた結果、ここにしかない固有の生きものや、それらが織りなす独特の生態系を見ることができます。

小笠原のこのような生態系が、小さな海洋島における生物の進化を示す典型的な見本として世界的な価値を持つことが認められ、世界自然遺産に登録されました。

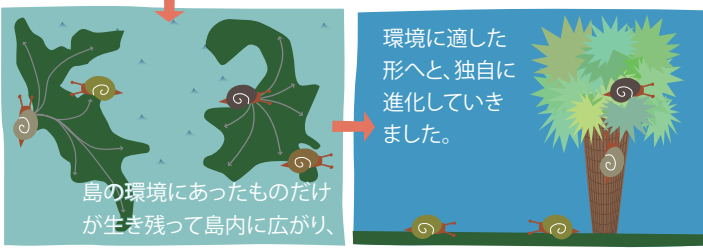
小笠原の成り立ち

地球史の見本が現在も進行中



生きものたちの起源と進化

小笠原は今まで一度も大陸と陸続きになったことがない海洋島のため、生きものたちは空を飛んできたり、波や風、鳥に運ばれたりして島にたどり着きました。



世界自然遺産としての価値

植物編 ユニークな森の礎



- 変わったコト
- 外来種の影響により本来の植生が変化
 - 対策、植栽により在来植生が回復中
 - 希少な固有植物の保全(柵で囲って保護、栽培して増殖)

鳥類・哺乳類編 翼で飛んでヨク着いた



- 変わったコト
- 外来種の影響による生息数の減少
 - 対策によりハトやコウモリの生息数が回復
 - ヒワ保全のため、母島列島の無人島の対策強化中
 - ハトの建物のガラスへの衝突やコウモリによる農業被害などの人の暮らしとの間でトラブル発生
 - 智島列島や母島、南島などで海鳥の繁殖地が回復
 - アホウドリが智島・楳島・嫁島で繁殖

独自に進化した生きものの 変わらないモノと変わったコト

陸産貝類編 マイマイのイマ



- 変わったコト
- 外来種の影響による生息の危機
 - 対策、土付苗の温浴により陸産貝類への影響をなるべく低減
 - 固有陸産貝類の保全(島内・動物園等で飼育繁殖・野生復帰)

昆虫編 虫たちをムシしない



- 変わったコト
- 外来種の影響による生息の危機
 - 兄島へのアノールの侵入確認(2013年)
 - 対策により昆虫類への影響をなるべく低減
 - 希少な固有の昆虫類の保全(トンボ類の繁殖を手助けするためのトンボ池の設置、オガサワラハンミョウの飼育繁殖・野生復帰)

小笠原本来の生態系を とりもどすためのとりくみ

外来種・在来種どちらの命も大切です。それでも、この対策は、小笠原でしか生きていけない生きものを守るため、生態系全体のバランスに注意しながら進められています。

外来種対策

プラナリア類 乗船前後や入山前後に海水マットで靴底を洗うように呼びかけています。

外来のアリ類 在来の陸産貝類を食べてしまうツヤオオズアリの拡散を防止するため、殺虫剤による駆除が母島・父島で行われています。

クモネズミ 在来の動植物を食べてしまうネズミの駆除が薬剤やカゴわなにより行われています。

ノヤギ 在来植物を食べてしまうノヤギの排除が侵入防止柵や銃器・わなにより唯一生息する父島で行われています。

外来植物 在来植生を侵略する外来植物の駆除が伐採や薬剤により行われています。

グリーンアノール アノールが無人島へ渡ることがないよう、港周辺でトラップによる捕獲が行われています。特に無人島の兄島では重点的な対策が行われています。

ネコ チツ! 在来の鳥類等を食べてしまうネコの排除がカゴわなや侵入防止柵により父島・母島で行われています。捕まったネコは人と暮らせるよう訓練した後、飼い主に引き渡されます。